

第2期剣淵町保健事業実施計画（データヘルス計画）

第3期剣淵町特定健康診査等実施計画 概要版

平成30年度～平成35年度

データヘルス計画とはレセプト（診療報酬明細書）などの健康・医療情報を活用して効率的・効果的な保健事業を实践する取り組みの事です。特定健診等実施計画は、メタボリックシンドロームに着目し生活習慣病の発症予防のために健診・保健指導を実施するための計画です。本町では平成25年度に第2期特定健診等実施計画、平成27年度に第1期データヘルス計画を策定し、事業を実施してきました。

この度、両計画が平成29年度末に終了することから、平成30年度から平成35年度の6年間を共通の計画期間とし、実施結果を踏まえて見直しを行い、第2期データヘルス計画と第3期特定健診等実施計画の策定を一体的に行います。

1. 第1期データヘルス計画に係る評価

(1) 医療費の状況

市町村名	総医療費	一人あたりの医療費			(中長期・短期) 目標疾患医療費計		
		金額	順位				
			同規模	道内			
H25	378,130,910円	23,836円	148位	140位	94,521,960円	45.1%	
H28							390,100,490円
H28	北海道	447,068,008,510円	27,782円	--	--	92,704,528,050円	20.7%
H28	国	9,687,968,260,190円	24,245円	--	--	2,239,908,933,310円	23.1%

市町村名	中長期目標				短期目標疾患			
	腎		脳	心	糖尿病	高血圧	脂質異常症	
	慢性腎不全 (透析有)	慢性腎不全 (透析無)	脳梗塞 脳出血	狭心症 心筋梗塞				
H25	3.04%	1.58%	1.66%	1.10%	5.93%	6.96%	4.72%	
H28								5.98%
H28	北海道	3.60%	0.29%	2.41%	2.37%	5.13%	4.36%	2.56%
H28	国	5.40%	0.35%	2.23%	2.03%	5.40%	4.75%	2.95%

・医療費総額は増加しており、中でも慢性腎不全（透析有）、脳血管疾患が著しく増えています。

(2) 疾患を有する人の割合（有病率）

	被保険者数	中長期的な目標						短期的な目標					
		虚血性心疾患		脳血管疾患		人工透析		糖尿病		高血圧		脂質異常症	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
H25	1434人	42人	2.9%	20人	1.4%	2人	0.1%	171人	11.9%	263人	18.3%	223人	15.6%
H28	1242人	40人	3.2%	24人	1.9%	4人	0.3%	159人	12.8%	273人	22.0%	244人	19.6%

・有病率は虚血性心疾患、脳血管疾患、人工透析の3疾患とも平成25年より増加している上に、それぞれの発症リスクを高める糖尿病、高血圧、脂質異常症の割合も上がっています。

(3) 特定健診・特定保健指導の状況

	特定健診			特定保健指導		
	対象者数	受診者数	受診率	対象者数	終了者数	実施率
H25	890人	543人	61.0%	81人	41人	50.6%
H28	795人	452人	56.9%	64人	51人	79.7%

・特定健診受診率は平成25年に比べて4.1ポイント減少し、国の目標値(60%)を下回りました。特定保健指導実施率は29.1ポイント上昇し、国の目標値(60%)を達成しました。

(4) メタボリックシンドローム該当者・予備軍の状況

男性	メタボ予備軍割合	メタボ該当者割合	女性	メタボ予備軍割合	メタボ該当者割合
H25	9.7%	11.0%	H25	7.4%	8.4%
H28	20.5%	26.7%	H28	9.5%	9.1%

・健診結果からもメタボリックシンドローム該当者、予備軍の割合が増えています。

2. 第2期データヘルス計画における健康課題と目標

(1) 中長期的な目標

医療費が高額となり、長期化する疾患である人工透析、長期入院になりやすく介護認定者の有病状況の多い疾患である脳血管疾患、虚血性心疾患を減らし、医療費の伸びを抑えることを目標とします。

(2) 短期的な目標

血管変化における共通リスクである、高血圧、脂質異常症、糖尿病、メタボリックシンドロームを減らしていくことを短期的な目標とします。

事業目標・評価指標	初期値	中間評価	最終目標
	H28	H32	H35
脳血管疾患の有病率の減少	1.9%	1.6%	1.4%
虚血性心疾患の有病率の減少	3.2%	2.9%	2.6%
人工透析の有病率の減少	0.3%	0.3%	0.2%
「メタボ該当」が翌年「予備軍」「非該当」に改善した割合の増加	23.8%	24.0%	25.0%
健診受診者の高血圧者(160/100以上)の割合の減少	1.3%	1.2%	1.1%
健診受診者の脂質異常者(LDLコレステロール180以上)の割合の減少	2.7%	2.5%	2.4%
健診受診者の高血糖者(未治療者HbA1c6.5以上、治療者HbA1c7.0以上)の割合の減少	4.4%	4.3%	4.2%

(3) 特定健診・特定保健指導の実施(第3期特定健診等実施計画)

特定健診を受診し、個人のリスクを把握することが将来の課題解決につながりますが、近年受診率は低下傾向にあります。そのため未受診者対策を進め、受診率60%を超えることを目指します。

事業目標・評価指標	初期値	中間評価	最終目標
	H28	H32	H35
特定健診受診率60%以上	56.9%	59.0%	60.0%
特定保健指導実施率60%以上	79.7%	70.0%	70.0%

(4) 保健事業の内容

特定健診における血糖、血圧、脂質の検査結果改善を目指し、重症化予防の取り組みを行います。

- ・糖尿病性腎症重症化予防にあたっては北海道及び剣淵町糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき保健指導を実施します。
- ・虚血性心疾患重症化予防、脳血管疾患重症化予防にあたっては各種治療ガイドライン等に基づき保健指導を進めていきます。
- ・まだリスクを抱えていない方々に対しても、健康づくり・生活習慣病予防について広く町民に周知・啓発をする取り組みを進めていきます。